

2023年4月24日

各位

会社名 JMACS 株式会社
代表者名 代表取締役社長 植村 剛嗣
(コード：5817、東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役 管理部管掌 植村 瑠美
(TEL. 0795-46-1697)

(訂正・数値データの再訂正)
「2023年2月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の一部訂正のお知らせ

2023年4月13日に公表しました「（訂正・数値データの訂正）2023年2月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」について一部再訂正を要する箇所がありましたので下記の通り訂正します。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データを送信することとしましたので、お知らせいたします。

なお、訂正箇所には____（下線）で示し、訂正のない箇所は記載を省略しています。

記

1. 訂正の理由

在庫数量の集計誤りにより記載内容の一部に誤りがあることが判明いたしましたので、2023年4月13日に「2023年2月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の訂正を行っております。

この訂正は、製品と仕掛品で同一品目コードを使用している場合に、製品と仕掛品を区別しないで数量集計を行ったことにより、製品在庫金額が過大となっていたことに対応したものであります。

この誤りは、それまでシステム外で行っていた仕掛品の数量集計を、システム入力した結果を利用する運用に変更した際に、製品数量把握に関する業務の見直しを行っていなかったために発生しております。この誤りについて、年度末決算においては製品と仕掛品の数量重複を解消した上で、2023年4月14日に「2023年2月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」を公表致しました。

しかしながら、その後、仕掛品と原材料についても調査を行った結果、仕掛品と原材料で同一品目コードを使用している場合に、同様の誤りが発見されました。

そのため、2023年4月13日に公表した「2023年2月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の訂正について、再度訂正を行います。

2. 訂正箇所

(訂正前)

1. 2023年2月期第3四半期の業績（2022年3月1日～2022年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第3四半期	3,859	9.4	<u>174</u>	<u>66.3</u>	<u>215</u>	<u>51.3</u>	<u>169</u>	<u>53.7</u>
2022年2月期第3四半期	3,527	—	104	—	142	—	110	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第3四半期	36.19	—
2022年2月期第3四半期	23.55	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年2月期第3四半期	8,177	4,556	55.7
2022年2月期	8,542	4,437	51.9

(参考) 自己資本 2023年2月期第3四半期 4,556百万円 2022年2月期 4,437百万円

(訂正後)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年2月期第3四半期の業績 (2022年3月1日~2022年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第3四半期	3,859	9.4	125	19.3	166	16.7	128	16.1
2022年2月期第3四半期	3,527	—	104	—	142	—	110	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第3四半期	27.35	—
2022年2月期第3四半期	23.55	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年2月期第3四半期	8,131	4,515	55.5
2022年2月期	8,542	4,437	51.9

(参考) 自己資本 2023年2月期第3四半期 4,515百万円 2022年2月期 4,437百万円

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(訂正前)

この結果、当社の経営成績につきましては、当第3四半期累計期間の売上高は3,859,237千円(前年同四半期比9.4%増)、営業利益174,358千円(前年同四半期比66.3%増)、経常利益215,449千円(前年同四半期比51.3%増)、固定資産除却損として35,617千円除却し、四半期純利益169,569千円(前年同四半期比53.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<電線事業>

電線事業につきましては、材料価格の高騰や材料入手が困難な状況は続いておりますが、計装ケ

ケーブル標準品の問合せが多く、シリーズ全般において売上は好調でした。また、当第3四半期累計期間は交通信号線の動き出しが早く、売上を順調に伸ばすことができ、売上高 3,656,545 千円（前年同四半期比 12.5%増）となり、セグメント利益 284,929 千円（前年同四半期比 57.6%増）となりました。

<トータルソリューション事業>

トータルソリューション事業につきましては、nvEye's®（スマートグラスに搭載可能な遠隔業務支援システム）の売上が好調でしたが、jSeeq-care（介護現場サポート）システムの販売が不調であったことや、円安による仕入価格の上昇、新型コロナウイルス感染症の急拡大による商談の進捗が遅れたことにより、売上高 202,692 千円（前年同四半期比 26.8%減）となり、セグメント損失 110,571 千円（前年同四半期はセグメント損失 75,962 千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末の総資産残高は 8,177,845 千円となり、前事業年度末に比べ 364,841 千円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加 357,522 千円、売上債権の増加 199,663 千円、原材料及び貯蔵品の増加 112,262 千円、建物の減少 475,500 千円、土地の減少 502,755 千円等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末の負債残高は 3,620,933 千円となり、前事業年度末に比べ 484,382 千円減少いたしました。その主な要因は支払手形及び買掛金の増加 78,297 千円、流動負債のその他の増加 52,884 千円、長期借入金の減少 582,611 千円等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末の純資産残高は 4,556,911 千円となり、前事業年度末に比べ 119,540 千円増加いたしました。その主な要因は四半期純利益 169,569 千円及び剰余金の配当 46,859 千円等によるものであります。

(訂正後)

この結果、当社の経営成績につきましては、当第3四半期累計期間の売上高は 3,859,237 千円（前年同四半期比 9.4%増）、営業利益 125,067 千円（前年同四半期比 19.3%増）、経常利益 166,158 千円（前年同四半期比 16.7%増）、固定資産除却損として 35,617 千円除却し、四半期純利益 128,166 千円（前年同四半期比 16.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<電線事業>

電線事業につきましては、材料価格の高騰や材料入手が困難な状況は続いておりますが、計装ケーブル標準品の問合せが多く、シリーズ全般において売上は好調でした。また、当第3四半期累計期間は交通信号線の動き出しが早く、売上を順調に伸ばすことができ、売上高 3,656,545 千円（前年同四半期比 12.5%増）となり、セグメント利益 235,605 千円（前年同四半期比 30.3%増）となりました。

<トータルソリューション事業>

トータルソリューション事業につきましては、nvEye's®（スマートグラスに搭載可能な遠隔業務支援システム）の売上が好調でしたが、jSeeq-care（介護現場サポート）システムの販売が不調であったことや、円安による仕入価格の上昇、新型コロナウイルス感染症の急拡大による商談の進捗が遅れたことにより、売上高 202,692 千円（前年同四半期比 26.8%減）となり、セグメント損失 110,538 千円（前年同四半期はセグメント損失 75,962 千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末の総資産残高は 8,131,629 千円となり、前事業年度末に比べ 411,057 千円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加 357,522 千円、売上債権の増加 199,663 千円、原材料及び貯蔵品の増加 62,342 千円、建物の減少 475,500 千円、土地の減少 502,755 千円等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末の負債残高は 3,616,121 千円となり、前事業年度末に比べ 489,195 千円減少いたしました。その主な要因は支払手形及び買掛金の増加 78,297 千円、流動負債のその他の増加 48,071 千円、長期借入金の減少 582,611 千円等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末の純資産残高は 4,515,507 千円となり、前事業年度末に比べ 78,137 千円増加いたしました。その主な要因は四半期純利益 128,166 千円及び剰余金の配当 46,859 千円等によるものであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(訂正前)

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	526,790	884,313
受取手形及び売掛金	1,681,576	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	1,773,916
電子記録債権	264,779	372,103
商品及び製品	433,821	457,575
仕掛品	239,098	227,482
原材料及び貯蔵品	465,782	578,045
その他	31,600	40,903
貸倒引当金	△2,069	△2,171
流動資産合計	3,641,381	4,332,167
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,996,755	1,521,255
土地	917,525	414,770
その他（純額）	177,585	138,495
有形固定資産合計	3,091,866	2,074,521
無形固定資産		
投資その他の資産	12,709	11,431
投資不動産（純額）	1,578,277	1,576,876
その他	218,451	182,848
投資その他の資産合計	1,796,728	1,759,724
固定資産合計	4,901,304	3,845,677
資産合計	8,542,686	8,177,845
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,158	363,456
電子記録債務	749,825	715,772
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	110,148	85,148
賞与引当金	20,604	49,123
その他	127,395	180,279
流動負債合計	1,993,131	2,093,780
固定負債		
長期借入金	1,846,731	1,264,120
退職給付引当金	77,074	74,875
役員退職慰労引当金	146,816	146,816
資産除去債務	10,337	10,360
その他	31,224	30,981
固定負債合計	2,112,184	1,527,153
負債合計	4,105,316	3,620,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	647,785	647,785
資本剰余金	644,838	644,838
利益剰余金	3,082,601	3,203,615
自己株式	△2,659	△2,659
株主資本合計	4,372,566	4,493,579
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64,804	63,331
評価・換算差額等合計	64,804	63,331

純資産合計	4,437,370	<u>4,556,911</u>
負債純資産合計	8,542,686	<u>8,177,845</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	526,790	884,313
受取手形及び売掛金	1,681,576	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	1,773,916
電子記録債権	264,779	372,103
商品及び製品	433,821	457,575
仕掛品	239,098	227,482
原材料及び貯蔵品	465,782	528,124
その他	31,600	44,515
貸倒引当金	△2,069	△2,171
流動資産合計	3,641,381	4,285,859
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,996,755	1,521,255
土地	917,525	414,770
その他（純額）	177,585	138,495
有形固定資産合計	3,091,866	2,074,521
無形固定資産		
投資その他の資産	12,709	11,431
投資不動産（純額）	1,578,277	1,576,876
その他	218,451	182,940
投資その他の資産合計	1,796,728	1,759,816
固定資産合計	4,901,304	3,845,769
資産合計	8,542,686	8,131,629
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,158	363,456
電子記録債務	749,825	715,772
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	110,148	85,148
賞与引当金	20,604	49,123
その他	127,395	175,467
流動負債合計	1,993,131	2,088,967
固定負債		
長期借入金	1,846,731	1,264,120
退職給付引当金	77,074	74,875
役員退職慰労引当金	146,816	146,816
資産除去債務	10,337	10,360
その他	31,224	30,981
固定負債合計	2,112,184	1,527,153
負債合計	4,105,316	3,616,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	647,785	647,785
資本剰余金	644,838	644,838
利益剰余金	3,082,601	3,162,211
自己株式	△2,659	△2,659
株主資本合計	4,372,566	4,452,175
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64,804	63,331
評価・換算差額等合計	64,804	63,331
純資産合計	4,437,370	4,515,507
負債純資産合計	8,542,686	8,131,629

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)
(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30 日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30 日)
売上高	3,527,824	3,859,237
売上原価	2,675,914	2,976,100
売上総利益	851,909	883,137
販売費及び一般管理費	747,048	708,778
営業利益	104,861	174,358
営業外収益		
受取賃貸料	50,562	50,562
助成金収入	8,601	—
その他	2,973	12,123
営業外収益合計	62,137	62,685
営業外費用		
支払利息	15,585	14,495
賃貸収入原価	6,451	7,098
その他	2,596	—
営業外費用合計	24,633	21,594
経常利益	142,365	215,449
特別損失		
固定資産除却損	—	35,617
特別損失合計	—	35,617
税引前四半期純利益	142,365	179,831
法人税、住民税及び事業税	20,737	20,676
法人税等調整額	11,268	△10,415
法人税等合計	32,006	10,261
四半期純利益	110,359	169,569

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30 日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30 日)
売上高	3,527,824	3,859,237
売上原価	2,675,914	3,026,020
売上総利益	851,909	833,216
販売費及び一般管理費	747,048	708,149
営業利益	104,861	125,067
営業外収益		
受取賃貸料	50,562	50,562
助成金収入	8,601	—
その他	2,973	12,123
営業外収益合計	62,137	62,685
営業外費用		
支払利息	15,585	14,495
賃貸収入原価	6,451	7,098
その他	2,596	—
営業外費用合計	24,633	21,594
経常利益	142,365	166,158
特別損失		
固定資産除却損	—	35,617
特別損失合計	—	35,617
税引前四半期純利益	142,365	130,540
法人税、住民税及び事業税	20,737	12,881
法人税等調整額	11,268	△10,507
法人税等合計	32,006	2,374
四半期純利益	110,359	128,166

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計 算書計上額 (注)
	電線事業	トータルソリ ューション 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,656,545	202,692	3,859,237	—	3,859,237
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,656,545	202,692	3,859,237	—	3,859,237
セグメント利益又は損 失(△)	<u>284,929</u>	<u>△110,571</u>	<u>174,358</u>	—	<u>174,358</u>

(訂正後)

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計 算書計上額 (注)
	電線事業	トータルソリ ューション 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,656,545	202,692	3,859,237	—	3,859,237
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,656,545	202,692	3,859,237	—	3,859,237
セグメント利益又は損 失(△)	<u>235,605</u>	<u>△110,538</u>	<u>125,067</u>	—	<u>125,067</u>

以上